

## 平成22年4月期 第2四半期決算短信

平成21年11月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ザッパラス

コード番号 3770 URL <http://www.zappallas.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 杉山 全功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山崎 浩史

四半期報告書提出予定日 平成21年12月14日

TEL 03-5475-7133

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年4月期第2四半期の連結業績(平成21年5月1日～平成21年10月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第2四半期	5,542	11.3	1,498	8.4	1,497	8.8	878	9.5
21年4月期第2四半期	4,977	—	1,381	—	1,376	—	802	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第2四半期	6,616.47	6,455.27
21年4月期第2四半期	6,075.39	5,891.23

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第2四半期	8,314	6,632	79.3	49,618.41
21年4月期	8,148	6,276	76.6	46,995.21

(参考) 自己資本 22年4月期第2四半期 6,589百万円 21年4月期 6,239百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	—	—	4,000.00	4,000.00
22年4月期	—	—	—	—	—
22年4月期 (予想)	—	—	—	4,200.00	4,200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年4月期の連結業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,350	10.1	3,110	14.8	3,100	15.0	1,820	15.1	13,708.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年4月期第2四半期 132,800株 21年4月期 132,760株

② 期末自己株式数 22年4月期第2四半期 一株 21年4月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年4月期第2四半期 132,793株 21年4月期第2四半期 132,058株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の5ページを参照してください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として、企業収益の低下や雇用情勢の悪化など厳しい状況が続いておりますが、徐々に回復の兆しも現れ、個人消費等一部に持ち直しの動きが見られております。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、平成21年10月31日現在における携帯電話の累計契約台数が10,989万台、そのうち第3世代携帯電話端末の台数は10,487万台(前年同期比11.1%増)(注1)となっており、全体の95.4%を占めるに至っております。また、モバイルコンテンツ市場とモバイルコマース市場をあわせたモバイルコンテンツ関連市場は2008年度に13,524億円(前年同期比17.0%増)(注2)となり依然としてマーケットが拡大していることに加え、プラットフォームの多様化によるコンテンツ配信経路の拡張や携帯電話を使用した送金が可能になるなど、携帯電話を利用した新しい事業モデルやグローバル市場への成長期待が高まっております。

このような環境の中、当社グループでは第2ステージへの成長を目指して、更なる企業収益力の基盤強化を当連結会計年度のテーマとして取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,542,916千円(前年同四半期比11.3%増)、営業利益1,498,417千円(前年同四半期比8.4%増)、経常利益1,497,509千円(前年同四半期比8.8%増)、四半期純利益878,620千円(前年同四半期比9.5%増)となりました。

なお、セグメント別の概況は以下のとおりであります。

(注1) 社団法人電気通信事業者協会の調査に拠っております。

(注2) モバイル・コンテンツ・フォーラムの調査に拠っております。

#### ① デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業につきましては、収益性を高めながら安定的な成長を確保することを事業方針としております。当第2四半期連結累計期間におきましては、新規サイトの投入による集客力の向上及び「占い」カテゴリに続く収益の柱として「デコメ」カテゴリを育成することを課題として取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の具体的な施策といたしましては、モバイルコンテンツでは35サイト、PCコンテンツでは53サイトの新規投入を行い、当第2四半期連結累計期間末現在における月額課金会員数は232万人となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末現在、当社グループが運営する携帯電話向け公式コンテンツは374サイト、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,410,642千円(前年同四半期比11.6%増)、営業利益は1,753,523千円(前年同四半期比9.4%増)となりました。

#### ② コマース関連事業

当社グループのコマース関連事業は、モバイルコマース事業と携帯電話販売事業の2つに大きく分けられます。モバイルコマース事業につきましては、商材の拡充と集客の強化を課題として取り組んでおり、当第2四半期連結累計期間におきましては、従来より取り組んでおりますMDの向上及び集中的な広告宣伝の実施により、暮らしの雑貨を取り扱うショップ「ポケットマーケット」が成長いたしました。また、携帯電話販売事業を行っている子会社の株式会社ジープラスにつきましては、引き続き収益及び利益の拡大に向けて努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末現在、当社が運営する公式ショップは22サイト、子会社が運営する携帯電話ショップは3店舗となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,043,094千円(前年同四半期比16.5%増)、営業利益は89,356千円(前年同四半期比56.9%増)となりました。

### ③その他の事業

その他の事業につきましては、「Y! Suica」のサイト運営、広告事業等に取り組んでまいりました。さらに、新しいプラットフォームへの参入として、占いサイト「ミクミク診断」（注3）を平成21年10月よりmixiアプリへ提供いたしました。また、引き続き新規事業への取り組みを強化すべく人材を積極的に投入しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は89,179千円（前年同四半期比32.1%減）、営業損失は15,046千円（前年同四半期は営業利益10,147千円）となりました。

（注3）「ミクミク診断」は平成21年11月18日より「ミクミク相性占い」へと名称変更しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して165,732千円増加し、8,314,016千円となりました。その主な要因は、有価証券の減少299,419千円があったものの、投資有価証券の増加441,803千円があったことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して190,822千円減少し、1,681,246千円となりました。その主な要因は、未払法人税等の減少165,794千円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して356,554千円増加し、6,632,770千円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加347,580千円によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1,468千円減少し、4,042,579千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は775,407千円となりました。その主な要因は、法人税等の支払額759,887千円があったものの、税金等調整前四半期純利益1,494,091千円の計上、減価償却費106,385千円の計上があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は248,368千円となりました。その主な要因は、有価証券の償還による収入300,000千円があったものの、無形固定資産の取得による支出95,420千円、投資有価証券の取得による支出446,979千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は528,507千円となりました。その主な要因は、配当金の支払額527,944千円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力のデジタルコンテンツ事業においては「占い」カテゴリーに続く収益の柱として「デコメ」カテゴリーの育成、コマース関連事業につきましてはモバイルコマースでの商材の拡充と集客の強化、携帯電話販売事業での収益の拡大に向けて努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね当初の業績予想どおりに推移しているため、平成22年4月期の連結業績予想につきましては、平成21年6月8日に発表した連結業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

##### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,936,655	2,938,704
売掛金	2,300,292	2,261,876
有価証券	1,105,923	1,405,343
商品及び製品	11,213	12,240
その他	136,047	135,328
貸倒引当金	△33,915	△32,966
流動資産合計	6,456,217	6,720,527
固定資産		
有形固定資産	79,143	86,089
無形固定資産		
ソフトウェア	206,028	211,835
のれん	220,320	227,135
その他	19,432	9,633
無形固定資産合計	445,780	448,605
投資その他の資産		
投資有価証券	1,046,713	604,909
その他	286,160	288,152
投資その他の資産合計	1,332,873	893,061
固定資産合計	1,857,798	1,427,756
資産合計	8,314,016	8,148,283
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	495,267	539,952
未払金	437,518	391,329
未払法人税等	609,185	774,979
未払役員賞与	—	35,768
役員賞与引当金	19,528	—
その他	118,538	127,620
流動負債合計	1,680,037	1,869,650
固定負債		
その他	1,208	2,417
固定負債合計	1,208	2,417
負債合計	1,681,246	1,872,068
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,439,243	1,438,843
資本剰余金	1,364,618	1,364,218
利益剰余金	3,782,526	3,434,945
株主資本合計	6,586,388	6,238,007
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,935	1,076
評価・換算差額等合計	2,935	1,076
少数株主持分	43,445	37,131
純資産合計	6,632,770	6,276,215
負債純資産合計	8,314,016	8,148,283

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
売上高	4,977,926	5,542,916
売上原価	1,739,556	1,795,981
売上総利益	3,238,370	3,746,935
販売費及び一般管理費	1,856,610	2,248,517
営業利益	1,381,759	1,498,417
営業外収益		
受取利息	10,108	4,553
投資事業組合投資利益	—	962
その他	1,898	2,855
営業外収益合計	12,006	8,371
営業外費用		
持分法による投資損失	15,859	9,054
投資事業組合投資損失	836	—
その他	384	224
営業外費用合計	17,080	9,279
経常利益	1,376,686	1,497,509
特別損失		
固定資産除売却損	186	84
業務委託契約解約損	—	3,333
特別損失合計	186	3,417
税金等調整前四半期純利益	1,376,500	1,494,091
法人税、住民税及び事業税	598,406	596,323
法人税等調整額	△25,022	12,832
法人税等合計	573,383	609,156
少数株主利益	813	6,314
四半期純利益	802,303	878,620

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,376,500	1,494,091
減価償却費	109,415	106,385
長期前払費用償却額	2,015	16
投資事業組合運用損益(△は益)	836	△962
のれん償却額	6,815	6,815
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,937	949
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	16,764	19,528
受取利息	△10,108	△4,553
固定資産除売却損益(△は益)	186	84
持分法による投資損益(△は益)	15,859	9,054
売上債権の増減額(△は増加)	△101,149	△38,415
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,855	1,160
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,682	△44,684
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,373	△30,748
未払金の増減額(△は減少)	△160,581	40,853
その他	△71,955	△28,824
小計	1,168,334	1,530,749
利息の受取額	9,618	4,545
法人税等の支払額	△543,467	△759,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	634,485	775,407
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	150,000	—
有価証券の取得による支出	△100,000	—
有価証券の償還による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△17,268	△5,925
無形固定資産の取得による支出	△117,144	△95,420
投資有価証券の取得による支出	△110,200	△446,979
差入保証金の差入による支出	△30	△42
差入保証金の回収による収入	2,397	—
保険積立金の払戻による収入	7,638	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,606	△248,368
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	22,050	646
配当金の支払額	△322,010	△527,944
その他	—	△1,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299,960	△528,507
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	49,919	△1,468
現金及び現金同等物の期首残高	2,880,355	4,044,047
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,930,275	4,042,579



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日）

	デジタルコン テンツ事業 (千円)	コマース関連 事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,950,883	895,706	131,336	4,977,926	—	4,977,926
(2) セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,950,883	895,706	131,336	4,977,926	—	4,977,926
営業利益	1,602,684	56,963	10,147	1,669,795	(288,035)	1,381,759

(注) 1. 事業区分の方法

事業はサービスの内容及び特性を考慮して区分しております。

2. 事業区分の内容

事業区分	主要サービス
デジタルコンテンツ事業	モバイルコンテンツ及びWEBコンテンツ等の提供
コマース関連事業	インターネットや店舗等での商品販売
その他の事業	上記に該当しない事業活動により生じたもの

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日）

	デジタルコン テンツ事業 (千円)	コマース関連 事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,410,642	1,043,094	89,179	5,542,916	—	5,542,916
(2) セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,410,642	1,043,094	89,179	5,542,916	—	5,542,916
営業利益又は営業損失(△)	1,753,523	89,356	△15,046	1,827,834	(329,416)	1,498,417

(注) 1. 事業区分の方法

事業はサービスの内容及び特性を考慮して区分しております。

2. 事業区分の内容

事業区分	主要サービス
デジタルコンテンツ事業	モバイルコンテンツ及びWEBコンテンツ等の提供
コマース関連事業	インターネットや店舗等での商品販売
その他の事業	上記に該当しない事業活動により生じたもの

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日）

連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日）

連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。